

Ⅱ編集後記Ⅱ

いまこの編集後記を中国・内モンゴル自治区のアルシャンという町で書いています。今年は抗日戦争勝利七〇周年。テレビはこの話題一色で、ポスターやスローガンなども多く目にします。また内モンゴルは、民族間の問題も含め歴史的経緯は複雑であり、歴史認識の問題をいろいろと考えさせられる夏になりました。

本号の所収論文の対象地域を見ると、日本、モンゴル、アラブ、ブリテン、東南アジアという広がりを持ち、また内容も音楽理論から耳飾の形態分析まで様々です。学問の細分化が進む中、こうした広さを持つ諸論文を一つの雑誌に掲載している本誌の存在はそれ自体貴重なことでしょう。

もちろん、論文は読者がそれを読むことで初めて意味を持つものです。各論文を読むにつけ、専門外の研究を理解することの難しさをも強く感じます。各分野の研究が深化するほど、他分野の研究動向を追うことは困難になります。果たしてそれでいいものか、頭を抱えます。冒頭で触れた歴史認識の問題も含め、非常に難しい課題であると改めて感じさせられます。

(真辺将之)

執筆者紹介（掲載順）

池ノ谷 匡祐	早稲田大学大学院文学研究科 博士後期課程
蒙古 ^{モンゴル} 勒呼 ^フ	早稲田大学大学院文学研究科 博士後期課程
木村 伸子	早稲田大学大学院文学研究科 博士後期課程
日尾野 裕一	早稲田大学大学院文学研究科 博士後期課程
深山 絵実梨	早稲田大学大学院文学研究科 博士後期課程

平成二十七年九月十八日印刷
平成二十七年九月二十五日発行

史観

第百七十三冊
定価 一千五百円

編集者 大内 宏 一
発行者 株式会社 白峰社

印刷所 早稲田大学史学会
発行所 東京都新宿区戸山一―二四―一

電話東京(三二〇三)四一四二番
振替〇〇一九〇―八―一四六二九